

法
69

舞鶴鐵道比較線
土山 京都
得失要領

301158-000-2

法-69

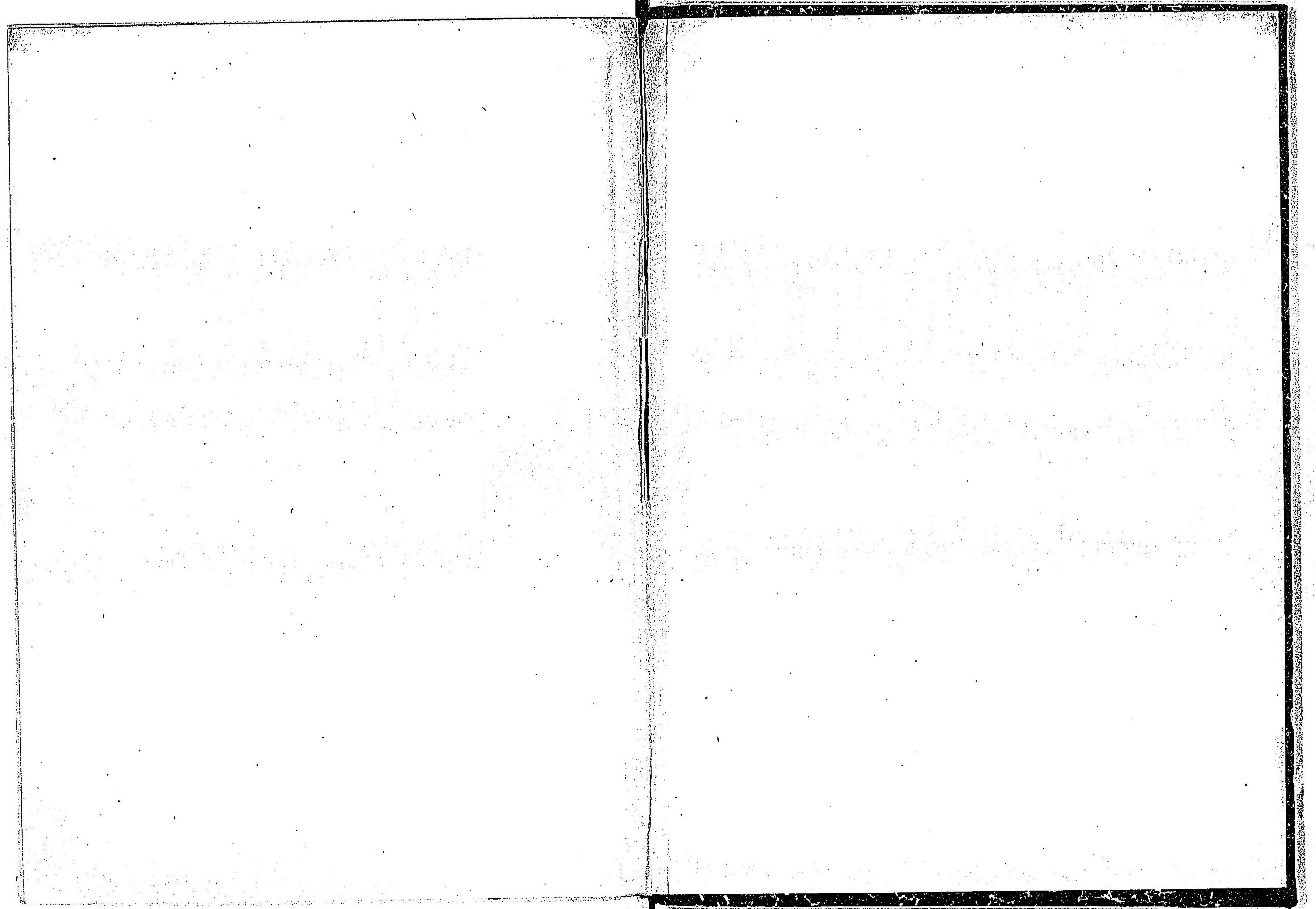
舞鶴鐵道比較線京都土山得失要領

佐畑 信之 著

M26.2

CDF-0047





舞鶴鐵道比較線 京都 土山 得失要領

舞鶴鐵道線ニ對スル當局者ノ調査未タ發表セラル、ニ至
局以外ノ技師及ヒ多年鐵道建築ニ經驗アル工學士等ノ概
其梗概ヲ知ルヲ得タリ依テ今茲ニ其要領ヲ摘載シ以テ諸賢ノ參考ニ
供シ併セテ採擇ヲ請ハントス

鐵道敷設ノ用タル關係甚廣シト雖モ其大綱ハ經濟軍用ノ二途ニ出テサ
鐵道敷設ノ用タル關係甚廣シト雖モ其大綱ハ經濟軍用ノ二途ニ出テサ



資本ニ對スル收益利分ノ高キヲ目的ト爲スモノナレハ第
第二營業費寡キヲ第三收入多キヲ要ス故ニ此三者ニ
ルモノヲ左ニ掲クヘシ

工事ノ難易

京鶴線 ハ七條停車場ヨリ下嵯峨ニ至リ大堰川一名保津川沿岸ヲ
溯ホリ龜岡ニ出テ鳥羽殿田胡麻本庄及山家綾部近傍ヲ經テ舞鶴ニ
達ス此哩數凡五拾九哩其間龜岡近傍ヲ除クノ外概テ山間窮谷ニシ



テ大堰川沿岸凡五哩ハ悉ク急峻ナル山腹ヲ切取り或ハ隧道(大小五ヶ所延長凡壹哩餘橋梁等ヲ架スル大難所ニ係リ鳥羽殿田ノ間ニモ三大橋ト凡三拾鎖ノ隧道ヲ要シ尙ホ胡麻山家間凡貳拾哩ハ土地起伏甚タ急ニシテ且無數ノ深溪ヲ踰ヘ斷崖ヲ毀テ隧道三ヶ所延長七拾鎖ヲ鑿テ橋梁ヲ架スル等工事甚困難ナリ又綾部舞鶴間ノ眞倉峠ニ一個ノ隧道ヲ要ス

土鶴線 ハ土山停車場ヨリ小野社柏原福知山綾部等ヲ經テ京鶴線ニ合シテ舞鶴ニ達ス此哩數凡七拾哩此間京鶴線ト合同シタル眞倉峠ニ一個ノ隧道ヲ要スルノミニテ其他全線土地開濶平夷(最高處ニシテ海面ヲ拔ク僅ニ三百尺餘ニシテ)工事ノ困難ナルモノ一モコレナシ蓋シ第一期鐵道線中此ノ如ク土地平坦ニシテ工事ノ容易ナルモノハ少ナキノミナラス我國南北海間ノ幅員最モ狹ク且最モ坦夷ナルモノ他ニ其比アルヲ見サルヘシ

勾配並ニ屈曲ノ緩急多少

京鶴線 ハ大堰川沿岸ニ五十分一内外胡麻山家間ニ處々七十分一乃至六十分一ノ勾配アルヲ免カレス且ツ全線ノ地理概テ狹澗窮谷

ニシテ山鼻溪角急銳ナルヲ以テ極度ノ屈曲ヲ用フル箇所甚多シ土鶴線 ハ只々眞倉ニ八十分一ノ勾配アルヲ最急トシ他ハ概テ百分一若クハ百五十分一内外ニシテ全線ノ地形廣濶平夷ナルヲ以テ屈曲モ亦極メテ緩鈍ナリ

工費及營業費ノ多寡

京鶴線 ハ土鶴線ニ比シ其哩數ニ於テ凡十一哩短シト雖モ工事甚困難ナルヲ以テ費額頗ル多ク其總費額大約四百貳拾萬圓ヲ要スヘシ而シテ其營業費ニ於テモ勾配急ニ屈曲銳キヲ以テ日常瀛車運轉費修繕費等ニ要スル金額鮮少ナラサルナリ

土鶴線 ハ工事最モ容易ナルヲ以テ工費隨テ少ク總額大約貳百八拾萬圓ヲ出テサルヘシ而シテ勾配緩ニ屈曲鈍キヲ以テ京鶴線ニ比シテ營業費ノ少キ言ヲ俟タサルナリ

收益ノ多少

土鶴線 ハ京鶴線ニ比スレハ人口壤域共多大ニシテ物産旅客ノ輸送來往頻繁ナルハ勿論線路ノ勾配緩ナレハ同一時間ニ多量ノ貨物ヲ輸搬スヘキヲ以テ隨テ京鶴線ニ比シ收益夥多ナルハ毫モ疑ヒナ

キ所ナリ

第二一般經濟

一般經濟ノ關係ニ外國內國地方ノ三種アリ其種別ニ依リ一々概要ヲ列擧スヘシ

外國ノ關係

一般經濟ノ關係タル鎖國ノ時ト大ニ其情態ヲ異ニシ今日ニ於テハ外國ニ對スル貿易事業最モ重要ノ位置ヲ占メ將來益發達スヘキハ勿論ナリトス故ニ舞鶴鐵道ノ如キモ第一開港場ニ接近連絡スルヲ務メサルベカラス

京鶴線ハ神戸港ニ達スル百六哩以上ニシテ土鶴線ハ九拾哩ニ過キス又舞鶴港ハ我國北海無比ノ良港ナレハ西伯利亞鐵道成功ノ場合ニ於テ浦潮斯德港ト直航ヲ開クニ至ルヘシ果シテ然ラハ神戸港トノ關係益密着スルニ至ルヘキハ明々タリ

內國ノ關係

神戸港ハ關西ノ咽喉海陸輻輳ノ衝ニアレハ内外往來ノ旅客物貨一ニ同港ヲ經由スルヲ以テ舞鶴鐵道ヲシテ同港ニ接近連絡セシムル

ト甚タ必要ナリトス又從來日本海沿岸地方ノ米穀海產物ノ類敦賀線アルモ其距離遠隔運賃高キカ爲メ之ヲ利用スルト極メテ鮮ナク遠ク下ノ關ヲ回航シテ兵庫神戸等ニ運送スルモノ甚多カリシモ一朝土鶴鐵道ノ神戸港ニ接近連絡シテ南北海ヲ貫通スルトアラハ將來大ニ本線ヲ利用スルニ至ルヘキハ火ヲ睹ルヨリ明ナリ況ンヤ大坂ニ至ルモ京鶴線ト大差ナク假令僅少ノ差アリトスルモ勾配甚タ緩ニシテ進行自在荷物速達ノ便アルニ於テチヤ

地方ノ關係

三丹及ヒ東播地方ノ物產ハ米穀茶生絲ヲ主眼トシ海產物木材牛等之ニ次ク而シテ其送り先ハ概テ左ノ如シ

米穀、多クハ兵庫神戸灘又ハ大坂ニ送り内外ニ輸出シ或ハ消費ス
茶、悉ク神戸港ニ於テ海外ニ輸出ス

生絲、神戸港ニ於テ若クハ同港ヲ經テ橫濱港ニ於テ貿易ス
海產物、食用ノ分ハ丹波山城播磨等ニ送り下ノ關回航ノ分ハ兵庫大坂ニ送ル
木材、多ク神戸大坂ニ送ル

牛神戸若クハ攝津紀伊ニ送ル而シテ概子但馬ヨリ丹波西部ヲ通
過ス

以上ノ關係ナルヲ以テ此般ノ物産ハ京鶴線ニ依ラス土鶴線ニ依ル
ヲ便ナリトス又京鶴線ハ龜岡近傍ヲ除ノ外悉ク狹隘ノ溪谷ニシテ
沿道戸口物産少ク鐵道ヲ利用スルモノ極メテ乏シ之ニ反シ土鶴線
ハ沿道概テ廣濶戸口稠密物産ニ富ミ又開墾シ得ヘキ廣原大野多ク
殊ニ三丹旅客物貨集散ノ衝タル福知山ノ本線ニ係ルアリ
抑モ土鶴線ノ起點地タル土山驛ナリト雖モ同所ハ畢竟接續場タル
ニ過キス起點ノ必要ハ全ク神戸港ニアルヲ以テ同港ヨリ直ニ舞鶴
港ニ達スル鐵道ヲ布設スルヲ當然ナレモ六甲山脈ニ遮キラレ地理
宜シキヲ得ス而シテ土鶴線ハ無比ノ良線ナルヲ以テ山陽鐵道ヲ利用
シ少シク迂回シタル者ナルヘシ而シテ神戸港ハ維新前ニ在テハ寥々
タル一村落タリシニ開港以來戸口日ニ増シ明治十六年一月ニハ五
萬四千人餘ナリシニ昨年十二月ニハ拾四萬千人餘トナルニ至ル既
往ノ沿革ヲ以テ將來ヲ推セハ數十年後ノ繁榮誠ニ想像シ得ヘカラ
ス隨テ同港ノ内外ニ對スル關係至大ナルヘキハ疑ヲ容レサルナリ

以上諸項ノ事實ヲ證スヘキ沿道ノ戸口物産貨物ノ員數統計等ハ別
紙比較表ニ掲載セリ

第三軍用

軍用上ノ事ニ至リテハ猥リニ容喙スヘキニアラスト雖モ土鶴線ノ軍
事上欠點トスル處ハ明石須磨間沿海ノ鐵道ヲ危險トスルモノ、如シ
然レモ須磨明石邊ハ内海ニシテ殊ニ紀淡海峽砲臺ノ防禦線内ニ屬シ
且有事ノ日ハ海軍ノ應援ヲモ得ラルベキヲ以テ甚シキ危險ノ憂ナカ
ルベシ若シ猶之アリトスレハ東京灣ニ沿フタル東京近傍ノ鐵道モ同
一ニシテ軍用ヲ爲サスト云ハザルヘカラス猶之ヲ極論セハ砲臺モ海
軍モ頼ムニ足ラス之レカ爲メニ投スル處ノ巨額ノ費金ヲシテ宜ク内
地ノ軍用鐵道ニ轉用スベシト論及スルト何ソ擇ハン豈如此理アラシ
ヤ又軍用強テ東方ノミノ連絡ニ限ルモノニ非ス西ニ廣島熊本ノ師團
姫路高松等ノ衛戍アレバ是亦宜シク連絡スベキナリ加之軍用ハ一時
迅速ニ多クノ兵士及輜重ヲ運送セサルヘカラズ然ルニ京鶴線ハ勾配
甚タ峻急ニシテ屈曲亦甚タ銳急ナルモノ多キヲ以テ極度ノ瀧力ヲ用
ルモ尙普通鐵道ノ如ク數十輛ノ列車ヲ連結シテ敏活ノ進行ヲ爲ス能

ハス加之屈曲ノ鋭急ナルカ爲メ長大ナル荷物ヲ輸送スルヲ能クセ
ス列車運行自在ナラサルカ爲メニ到達ノ時間ヲ延長スルノ恐アリテ
十分ニ其用ヲ爲シ難カルヘシ又鐵道ノ軍用ハ獨リ陸軍ノミナラス海
軍モ亦緩急之ヲ利用スルヲ少ナカラザルベシ西ニ吳佐世保ノ二鎮守
府アリコレト水陸連絡ヲ要スヘク又海軍ハ日常軍艦ノ運動ヲ專ラト
スレモ一朝事アルノ日ニ當リ神戸舞鶴兩港ニ輻輳スルトセンカ下ノ
關ヲ回航スルニ違アラサル時ハ勢ヒ短距離ノ鐵道ニ依リ南北兩海互
ニ往來應援スルノ必要ヲ生スヘク兵器糧食ノ如キハ勿論時アリテハ
重大ノ大砲及ヒ水雷艇ヲ陸運スヘキノ緊要アラシモ期スヘカラス果
テ然ラハ是等ノ兵器輜重ヲ輸送スルニハ勾配最モ緩ニ屈曲最モ鈍ク
最短時間ヲ以テ最多量ノ荷物ヲ輸送シ得ヘキ敏活速達ノ利便ヲ備フ
ル鐵道ナラサルヘカラス

神戸明石邊海岸鐵道ノ軍用上其危險甚タ恐ル、ニ足ラスト信スル
前述ノ如シ然レモ陸軍ニ於テハ尙ホ海邊ヲ避ケテ東西連絡線路ヲ必
要トスレハ京都ヨリ龜岡園部篠山ヲ經氷上郡久下村ニ於テ土鶴線ニ
接續スルヲ得ヘシ此線路ハ既ニ當局技師及某工學士等踏査シテ敷設

困難ナラサルヲ明言シタルモノナリ如此接續セバ一面ハ京都ヨリ姫
路ニ達シ一面ハ京都ヨリ舞鶴ニ通シ其交通往來ノ至便ヲ得ルハ勿論
線路ノ通過スル所丹波ニアツテハ龜岡園部篠山柏原福知山綾部播磨
ニテハ社小野等戸口稠密物産繁多ニシテ地形廣濶ナル所ハ悉ク經過
スルトトナリコレヲ京鶴線ヲ敷キ其線中ナル園部ヨリ分岐シテ姫路
ニ達スル縱貫線ヲ設クルモノニ比セハ線路坦易ニシテ將來鐵道ノ運
輸上又軍用上完備ヲ得且工費ヲ減シ又經濟ノ利用ニ於テ超越スル所
アル極メテ大ナリト謂フヘシ如何トナレバ園部綾部間ノ險難ナル窮
谷ニ換フルニ久下綾部間ノ平夷廣濶ノ地ヲ以テスルノミナラス久下
綾部間ニハ柏原福知山等皆郵便電信局アリノ都會ヲ始メ戸口物産最
モ多キ部分ヲ包含スレハナリ若シ夫レ後來京都姫路間ノ縱貫線ヲ必
要ナリトセンカ宜ク先ツ土山線ヲ敷設シテ然ル後久下京都間ノ連
絡ヲ取ルヘキナリ

但土山ハ明石海峽ノ西ニアツテ姫路ニ接近スレハ直ニ姫路ニ接續
スルト更ニ異ナル所ナシ

第四結論

京鶴土鶴兩線ノ得失ハ前述ノ如ク鐵道經濟ヨリスルモ一般經濟ヨリ
スルモ將々軍用ヨリスルモ土鶴線ノ京鶴線ニ優ルヲ誠ニ明白ナリト
信セリ殊ニ目下ノ急務ハ經濟ヲ先ニシ國力ヲ發達スルニアルヘシ國
力發達センカ國防ノ專業之ヲ爲スニ難カラス假令國防ヲ完備スルモ
國力衰耗セハ何ヲ以テ能ク國ノ獨立ヲ保維スルヲ得ン然ルニ土鶴
線ハ最能ク經濟上ノ効用ト軍用トヲ兼備スルモノナレハ速ニ之ヲ
採擇シテ其敷設ヲ圖ルハ國家ノ大計上誠ニ當然ノ措置ナルヘシト思
惟スル所以ナリ冀クハ識者幸ニ彼此ノ利害得喪ヲ鑑識セラレントナ

法
69

明治廿六年一月三十一日印刷
明治廿六年二月 二 日出版

(非賣品)

著者 正六位 佐 畑 信 之

兵庫縣神戸市北長狹通
五丁目四拾八番地住士族

發行者 丸 岡 寬 三 郎

兵庫縣多可郡中村
三拾八番地住平民

印刷者 曲 田 成

東京市京橋區築地
貳丁目拾七番地

印刷所 東京築地活版製造所

東京市京橋區築地
貳丁目拾七番地

THE UNIVERSITY OF CHICAGO
LIBRARY